



銀座の言語景観3

日本大学文理学部国文学科
日本語学基礎演習2

- はじめに
- フロアガイドからみた銀座
-デパートとファッションビル-
- 看板とメニューから見た銀座の飲食店
-高級店とお手頃価格店-
- サービスと配布物から見た銀座
-デパートとファストファッション-
- 店舗看板からみた銀座
-老舗と新興店-
- 臨時の掲示物からみた銀座
-老舗飲食店・和装関連店・雑貨店-
- 縦看板からみた銀座
- 銀座のアンテナショップ
-看板・店頭の臨時の掲示物から-
- あとがき

第3章 看板とメニューから見た銀座の飲食店 -高級店とお手頃価格店-

0311090 土井尊

0312153 溝渕瑛里菜

[PDF 調査マニュアル&チェックシート\(PDF\)](#)

3.1 はじめに

今回私たちは食べログを使い5000円～15000円以内の店を高級店とし、5000円以下の店を安価店として対象の店舗の看板およびメニューの表記を調査を行いました。

調査対象店舗数は高級店が25店舗、安価店が30店舗です。

3.2 調査結果

調査の結果高級店、安価店とともに共通して言えることはどちらも「外国人客をターゲットとしていない」とこと、「使用している言語は雰囲気作りのためのものである」ということです。

表1 高級店の看板・メニューの言語種類

言語種類	掲載数
日本語	25
日本語+英語	16
日本語+中国語(繁体字)+英語	1
日本語+韓国語	1
日本語+フランス語	5
日本語+英語+仏語	1

表2 安価店の看板・メニューの言語種類

言語種類	掲載数
日本語	29
日本語+英語	16
日本語+中国語(繁体字)	2
日本語+韓国語	1
日本語+フランス語	5
日本語+英語+仏語	2

3.3まとめ

高級店とリーズナブルな店舗に共通しているのは、どちらも雰囲気や演出の一つとしての「フレーバー」としての使われ方が主であると考えられます。

「外国人客向けに」というわけではなく、その店の「演出として必要な言語」として、複数の言語を組み合わせて表記しているのではないかと思われます。

いずれの店舗も料理カテゴリに合わせた言語を使っていても小さくでも日本語で表記してあるので結果的には「日本人が楽しむためのお店」という考え方が浸透しているといえるでしょう。

[ページTOPへ](#)